SOCIETA SOCIET

青山学院中等部緑窓会会報 2009年(平成21年)5月1

青山学院中等部緑窓会 東京都渋谷区渋谷4-4 FAX 03-3498-5387 150-8366 電話/ FAX

E-mail: ryokusoukai@ceres.ocn.ne.jp

巣立った同窓生は今一六、七五〇人を数えます。 く育んでくれました。そして豊かな思い出を残して学び舎を 学び舎は常に生徒たちが「地の塩、世の光」となるよう温か

きして講演や演奏をしていただく、毎年六月の年次行事とし 運営を担い、これまでゲストとして幾多の先輩・後輩をお招 トした「緑窓会の日」 り同窓生の親睦を図ってきました。そして平成二年にスター 一は、卒業後四十年目になる期生が企画

中等部生徒への応援方法に

それは青山学 旦は、

私たちは新たに第六十期 て定着して今年で二十回目を迎えました。 この記念すべき今年六月六日の つまり人生の還暦祝にあたる緑窓会六十年目の 将来の発展を誓う成人式でもあります。

月、

そって私たちの原点である中等部の発展を祈り、 そして緑窓会の活動標語である「原点・祝祭・継続」に

「緑窓会の日」を皆さんと

緑窓会の

未来の同窓

私たち緑窓会は第一期生の卒業と同時に発足し六十年に亘 生が卒業して以来六十年の歳月が流れ てスタートし、昭和二十五年に第一期 たことを意味します。その間中等部の かせ下さい。 うではありませんか。 生にこの大きな親睦の輪を繋いで行く新たなスタートとしよ ついて先生方と話し合いを始めています。 友と学校の連携強化」を踏まえ、 若い後輩たちの学校生活に資する皆様のご意見をぜひお聞 最後に、いま緑窓会役員会では青学全体の指針である「校

中等部緑窓会会長 﨑田 克己 (十四期)

院中等部が戦後間もなく新制中学とし の同窓生を迎えました。 時は祝祭!

一十周年

大いに祝い、楽しみましょう。

第二十回「緑窓会の日」 二〇〇九年六月六日(土)

実行委員長

Щ

田 忠

三十

期

な時間を皆様にお届けできることと確信いたしております。 素晴らしい演奏と、ウイットに富んだ巧みなトークで、 ヴァイオリニスト高嶋ちさ子さんの演奏会が開催されます。 はそのチャンスです。 れる方も多いのではないでしょうか。今年の したか。「そういえば、 た。みなさんは中等部を卒業されて何回校舎に足を運ばれま 高嶋ちさ子さんは「クラシックをより身近に」をテーマに 本年で二十回 目の 「緑窓会の日」を迎えることになりまし もう何年も行ったことがない」と言わ 今年は二十回記念として三十五期生の 「緑窓会の日」 素敵

第18号

演奏してくださるそうです。 を立ち上げられました。当日はそのメンバーの方々も一緒に るという趣旨で「高嶋ちさ子 十二人のヴァイオリニスト」 なものに感じてもらえるよう積極的に活動されてきました。 たれている固い、 また二〇〇六年に実力のある若手演奏家達を発掘し支援す ヴァイオリンを通して、 敷居が高い、 クラシック音楽の楽しさを身近 難しいというイメージを払拭

十回「緑窓会の日」をお楽しみいただきたいと思います。 催されます。どうぞ懐かしい恩師、 演奏会終了後、アイビーホール(青学会館)にて懇親会も開 同窓生と共に中等部第二

様々な活動を続けて来られました。クラシックが一般的に持

出演者のプロフィールと演奏予定緑窓会の日 二十周年記念 六月六日(土)

高嶋ちさ子 十二人のヴァイオリニスト観ても、聴いても、美しく、楽しい!

高嶋ちさ子 六歳からヴァイオリンを始め、青山学院初等部、 にユー。九七年本拠地を日本に移し、本格的に活動を始める。 ビュー。九七年本拠地を日本に移し、本格的に活動を始める。 ビュー。九七年本拠地を日本に移し、本格的に活動を始める。 ビュー。九七年本拠地を日本に移し、本格的に活動を始める。 にユー。九七年本拠地を日本に移し、本格的に活動を始める。

受用器はストラディヴァリウス (一七三六年製) 愛称 ルーシーターが評価され、活動の場は更に拡がりを見せている。
 ターが評価され、活動の場は更に拡がりを見せている。
 ターが評価され、活動の場は更に拡がりを見せている。
 ターが評価され、活動の場は更に拡がりを見せている。
 ○八年は五月にリニスト」を立ち上げ、多いに注目を集める。○八年は五月にリニスト」を立ち上げ、多いに注目を集める。○八年は五月にリニスト」を立ち上げ、多いに注目を集める。○八年は五月にリニスト」を立ち上げ、多いに注目を集める。○八年は五月にリニスト」を立ち上げ、多いに注目を集める。○八年は五月にリニスト」を対している。

出 演 高嶋ちさ子 十二人のヴァイオリニスト

予定曲目 バッハ&グノー/アヴェマリア、リスト/ラ・予定曲目 バッハ&グノー/アヴェマリア、リスト/ラ・

講

座

ヴァイオリン講座、

指揮者講座

他

第十九回緑窓会の日

十九期 実行委員長 桑 和美

には、 ていただきました。 こと第十二世都一中さんのレクチャーコ 戸文化」と題する、 ことと思います。そして「音で味わう江 話会で旧交を温めた学友もたくさんいた 引き続き短大食堂へ移動して美味しい茶 達とかかわる深いお話をいただきました。 エスは泣いて、言われた」の題で、子供 等部宗教主任の西田恵一郎先生から、 青学講堂で初めに行われた礼拝では、 席していただき、 ンサートで、邦楽の楽しさをたっぷり味わっ 昨年の六月七日土曜日の「緑窓会の日 約二百六十人という多くの方に出 ありがとうございました。 同級生藤堂誠 一郎君 1 中

息福原百之助さん率いる囃子のわくわく と 福原百之助さん率いる囃子のわくわく 高福原百之助さん率いる囃子のわくわく 息福原百之助さん率いる囃子のわくのと 終世したことは効果的でした。一中節と常いしたことは効果的でした。一中節と常いしたことは効果的でした。一中節と常いしたことは効果的でした。一中節と常いしたことは効果的でした。一中節と常いるでした。終曲は三社祭禮之段。御子のおりない。

十八期同様、十九期も緑窓会の日以来、象深い小野原質子さんのナレーションと、象深い小野原質子さんのナレーションと、象深い小野原質子さんのナレーションと、の世界になったかなと思っています。印

十八期同様、十九期も緑窓会の日以来、クラス会が続いています。かけがえのない再会の喜びを、中等部に戻って教えていただきました。右往左往の私達を優しくサポートしてくださった緑窓会役員の方々にこころから御礼申し上げます。



中等部長 山本与志春

なら、 もしい道標であり、 ルです。人生の規範として先立ち歩ま それは現在の中等部生に送る熱いエー それぞれの方面で活躍されておられる もつ地域の教育力に勝る力があります 域の教育力は、 することではと危惧しています。 希望を与えられるのです。 れている先輩の姿は、 青山学院中等部を卒業された皆様が、 それは卒業生校友の皆様の存在です。 ラブなどを通して、子どもを見守る地 体が増えてきましたが、それは公立学 しかし、私立学校には、公立学校が お祭りや子ども会・スポーツク 地域のもつ教育力を、自ら放棄 学校選択制を取り入れる自治 大きいと思うからです 目標に挑む勇気と 生徒にとって頼 なぜ

える力です。私どもが受験生にいくらさらに、皆様方の言葉は、母校を支



様との親交を深めていただき、

同期会

その時に企画していただければ、

皆様のお帰りを心からお待ち致します。大変有意義な一日になるかと存じます。

の姿をご覧いただくと共に、同窓の皆

さる皆様の心に、 をもつ言葉はありません。卒業して長 声高に喧伝しても、 徒に知らせる、良い機会となりました。 感謝致します。これも皆様の思いを生 たいことだと、生徒に伝えております。 おります。そして、これは大変ありが い年月を経てなお母校を大切にして下 部は素晴らしい」との言葉ほど説得力 業生の皆様の「青山は良かった、中等 に「緑窓会賞」をいただくことになり、 今後も中等部を、 また昨年の運動会から、優勝クラス 何ほどのことでもありません。 中等部は支えられて 皆様の大切な故郷 それは当然のこと 本

今後も中等部を、皆様の大切な故郷 今後も中等部を、皆様の大切な故郷 で子どもの帰省を待つ親のように、 故郷で子どもの帰省を待つ親のように、 教師にとって、教え子の訪問を受けて、 れ出話や近況を聞くことは、大きな 思い出話や近況を聞くことは、大きな 思い出話や近況を聞くことは、大きな 思い出話や近況を聞くことは、大きな としてす。運動会や中等部祭、クリス マス礼拝や毎年六月第一土曜の「緑窓 マス礼拝や毎年六月第一土曜の「緑窓

一緑窓会と私

学で鍛えなさい」
「お宅は一人っ子ですよね。だった

牧師の家庭に育った私は、親の転任 で小学校を五回も変わり、卒業時は新で小学校を五回も変わり、卒業時は新で小学校でした。中学から公立宿区立の小学校でした。中学から公立ではなく、キリスト教主義の学校(青世学院中等部)へ通わせたいと思った(字)両親は、担任にその旨を話したところ、三者面談で担任から前記のようころ、三者面談で担任から前記のように告げられ、受験関係の書類を書いてもらえませんでした。

区立中学から都立高校へ進学し、大学神学部への進学を勧められました。大学神学部への進学を勧められました。大学・学科へ進学しました。



中等部系

前中等部教論 石出 道雄

全く無かったのです。

私自身驚くほどです。

私自身驚くほどです。

本うな顔をしていられる図々しさには、
のような私が、中等部だけでなく

生がいる安心感。 ました。卒業後二十年・三十年経って 時のショックは大きく、 ないのです。この点で中等部に勤めた えているのです。 の下で変わらない校風、 から訪問しても、 る先生はおらず、不審者と見られかね すし、文化祭などで行っても知ってい クラス会や同窓会は学校以外の会場で 業後に母校へ行った事が無いのです。 公立小・中・高校で育った私は、 しっかりしたモットー これらが中等部を支 羨ましく思い 知っている先

オープンスクールの文化祭(中等部祭)時に、クラス会・同期会とまでいなくても、仲間が集まり、先生も交かなくても、仲間が集まり、先生も交ました。年々賑やかさを増し、私自身が楽しんでいます。

緑 窓会の日

回。今までの「緑窓会の日」を何枚か一九九〇年、第一回「緑窓会の日」が一九九〇年、第一回「緑窓会の日」が中等部の第一期生が卒業して四十年目、 の写真で振り返ってみてください。





A. 第1回 (1990年) 緑窓会の日 記念礼拝

海野義雄氏 ヴァイオリンリサイタル B. 第1回

遠藤周作氏 講演「宗教とは」 C. 第1回

D. 第1回 青学講堂に集まった同窓生

E. 第4回 かまやつひろし氏「わが良き友よ」

F. 第 5 回 田坂興亜氏 講演「農業汚染のこと」

G. 第11回 緑窓会創立50年 青山学院管弦楽団

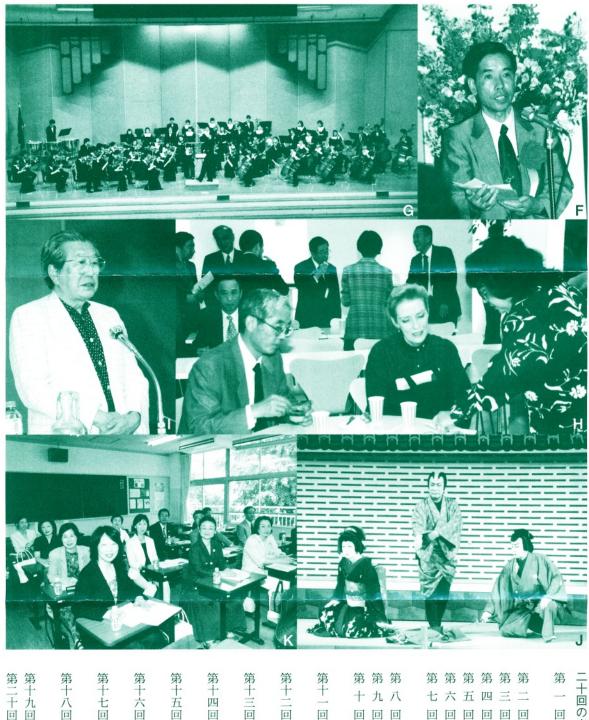
H. 第9回 イーデス・ハンソン氏 講演

1. 第11回 (2000年) 團 伊玖磨氏 講演

J. 第13回 市川團十郎他2名「三人吉三」

K. 第15回 中等部教室にて「学校へ帰ろう!」





二十回の出演者達(敬称略)

海野 義雄 (二期生)

利根川

イルカ

七六五四三二 日日日日日 かまやつ ひろし (五期生)

沢井 一恵 (七期生)

田坂

興亜

(六期生)

日野原 重明

梓アンサンブル(八期生)

口口

十九八 マイク真木(十一期生)

П 鈴木 史子 (十一期生) 伊玖磨 (中学部卒)

青山学院管弦楽団

モニー合唱団 青山学院大学グリーンハー

第十三回 團十郎・中村 梅玉 松助 (十三期生)

第十四回 小野

有五 (十四期生)

(十四期生)

高橋 山内 (十五期生) (十五期生)

椎名 一期生 郎(高等部四十

第十七回 ジョアン 薫

山上

山西山 晃弘(十七期生)

その他九名(十八期生) 中 (十九期生) 秀雄・浜口 茂外也

高嶋 ちさ子(三十五期生)

同期会便り

期生同期会

一期 長谷川好洋

先生方にご参加いただき、一層賑やか外の先生方もお呼びしたので、十名の外の先生方もお呼びしたので、十名の外の先生方もお呼びしたので、十名の外の先生方もお呼びしたので、一名のいた生方もお呼びしたので、十名の

井先生が英語の鈴木先生 井先生が英語の鈴木先生 に「毎朝、手に手を取っ て学校にお出でになり、 お熱いことでしたね」と からかわれたりして、先 生方とのお話も弾み、皆 さん幼い頃にタイムスリッ プして楽しい時を過ごし ました。

また、昨年亡くなられた八田信子さんが遺産の内から二千万円を高等部内がら二千万円を高等部の奨学金に寄付をされたと言う報告があり、皆さんに深い感銘を与えました。参加の皆さんは、二年後この会には後期高齢者になると言うのに、よく飲み、よく食べ、お元気で、この会がますます。

緑窓会便り

は最初である。
は、
は、
は、
が、

一番目は一万六千名余りの卒業生の名簿の管理。住所の変更管理、姓や名の変わった方の名前の訂正。訃報の記載など。数年前からパソコンを導入し載など。数年前からパソコンを導入しましたので、要望があったとき、この名簿から、同期会、クラス会などの名

な会となりました。ご夫

二番目は会費の徴収。この会費で、 また、中等部の各行事に参加したり、 また、中等部の各行事に参加したり、

振り返って、第一回「緑窓会の日」のプログラムを見ると、この会をレーのプログラムを見ると、この会をレーンに乗せるために働いて下さったたくさんの方々のお名前が一人残らず載っさんの方々のお名前が一人残らず載っさんの方々のお名前が一人残らず載っさんの方々のお名前が一人残らず載っさんの方々のお名前が一人残らず載っさん。各会長と共に会の運営に携わらさん。各会長と共に会の運営に携わらさん。各会長と共に会の運営に携わられた諸先輩。本当にありがとうございれた諸先輩。本当にありがとうございました。

事務室は毎週火曜日に開けて仕事を

伝い頂ける方を募集しています。の若返りが徐々におこなわれること。の若返りが徐々におこなわれること。この数年、男性のスタッフも増え、崎この数年、男性のスタッフも増え、崎とから、毎週でなくても定期的にお手が、今一番の課題は事務所していますが、今一番の課題は事務所

毎週火曜日 十一時~十六時

〇三-三四九八-五三八七

通うのは精神のリフレッシュになりまだしく地味な仕事ですが、母校に時々



中等部祭の緑窓会の部

業生の とお菓子も用意しています。 頂けます。ささやかですが、 を馳せながら、ゆっくりくつろいで ブルがありますので、 ける空間。 会の部屋です。 ですか。 中 等部の文化祭の日 ための部屋があるのをご存知 多目的室に設けられた緑窓 喫茶室のように椅子とテー 文化祭のあと一息つ 若き日に思い 中等部に卒 飲み物

た卒業生と事務局のメンバー。 に石出先生)のご好意ですが、お世話 をするのは、 部屋を提供して下さるのは中等部(特 六月に緑窓会の日を仕切っ です

中等部運動会に緑窓会賞新設

から、 寄せたりしていました。 菓子でもてなしたいと遠くから取り が出ていましたし、 のも魅力。 毎年雰囲気が少しずつ変わる ある年は本格的なコーヒー ある年はこのお

楽しそうでした。 期の方々は緑窓会の部屋で待ち合わ せて歓談。ミニ同期会のようで実に たのかと感心したのですが、 そして、 昨年はこんな利用法もあっ 二十七

0 部祭にお出かけの折はぜひお立ち寄 下さい。 今年は十一月七、八日です。 二十期が当番です。 中等

チャンタミット献金

期

門

田美智子

りタイのキリスト教系ハンセン病コロ さん達に直接会うことが出来た貴重な するコロニーも数ヶ所訪問しました。 同行させていただき、タイ奥地に散在 旅でした。五年後、チャンタミット社の 不自由な体でも明るく生きている患者 善社の棟居理事長が参加され、私達も に献金のなかだちをお願いしている好 ニーの人々のために捧げてきました。 イを訪ねました。ちょうど、新しい施設 (緑窓会の献金もその一部)の開設祝い 一〇〇〇年六月に同期の鳥居さんとタ 緑窓会の日」の礼拝献金は第一回よ



下さいました。多額な献金ではありま 問の折、緑窓会事務室まで足を運 良かったと思いました。 実感し、改めてこの献金を続けてきて せんが、私達の気持がかよっていると んで

許されなかった日本のハンセン病元患 き手の教育研修に用いられています。 セン病コロニーで生活する子供達と働 病施設教育基金」に繰り入れられ、 この教育基金は、子供を持つことが 今、緑窓会の献金は「タイ・ハンセン

私達の献金が少しでも、タイの子供達 者の方々からの献金で創設されました。



★二〇〇九年度人事

動されました。

動

(就任)

て勤められ、昨年十月に大学へ移 一九九五年から事務職会計係とし

孝子 さん

部長

宗教主任 教頭

指導主任 教務主任 敷小 浦 西

田 田

島 本 田 節 洋 文 子

真山

恵一郎 克 与志春 忠 信 浩 ★異 田島

青山学院大学卒業後、 中等部四十六期生として卒業され 数学科を担当されます。 に立たれていました。 英理 先生 他校で教壇

*行事予定 ★年間予定

二年学年主任 三年学年主任

年学年主任

教研主任

三年生 二年生 一年生 沖縄旅行(五月) 裏磐梯キャンプ(五月) ンプ(四月) オリエンテーションキャ

★異

動

事務長

石出

道雄 先生 (退任)

中等部祭 運動会 クリスマス礼拝(十二月) (十月) 歌舞伎教室(六月) (十一月)

*中等部祭 歓 する予定です。お待ち合わせ・ご 緑窓会の部屋」も例年通り開設 (談にご利用ください。

佐藤いつ子 先生 さいました。 長年緑窓会担当としてもお世話くだ

またラグビー部・

緑信会顧問もさ

会科教諭として勤められました。

九六八年四月から四十一年間、社

れました。

十一月七日 八日 (土) 正午~ (日) 正午~

科教諭として、また放送部・剣道

一九七七年から三十二年間、

国語

部顧問として勤められました。

★緑窓会の新担 橋本都美子先生が担当されます。 石出先生の退任に伴い真藤純一先生、

学科教諭として、またサッカー部・

一九七九年四月から三十年間、

数

水泳部顧問として勤められました。

平田

肇 先生

(平成20) 年度収支計 0 0 8

自 2008(平成20年) 4月1日 2009(平成21年) 3 月31日

青山学院中等部緑窓会

支出の部				収入の部	
科	Ħ		金 額	科目	金 額
会 報	制 作	費	637,350	2009年度入会金	807,000
会 報	発 送	費	1,277,254	維持会費	4,718,000
事	業	費	639,150		
事 務	用 品	費	101,921	寄 付 収 入	2,000
会	議	費	223,422	雑 収 入	15,838
交	通	費	221,560	預 金 利 息	15,134
水 道	光 熱	費	12,000	前受会費(新会員分)	536,000
通	信	費	120,177	前 受 会 費	82,000
支 払	い手数	料	6,380	チャンタミット献金分	2,162
賃	借	料	136,080		
寄	付	金	335,600		
P C	関 連	費	214,500		
慶	弔	費	0		
雑		費	74,879		
本年度支出合計 4,000,273			4,000,273	本年度収入合計	6,178,134
			11,410,838	前年度繰越収支差額	9,232,977

克 己 長 岫竒 \mathbb{H} 会 副会長 伊 藤 Œ. 道 副会長 松 元 茂

本由里 副会長 西 了 子 3 鳥 居 照 会 計 陽 河 合 子

事 \mathbf{H} 坂 興 亜 監 久 事 今 村 和

緑 窓 会 会 計 報 告